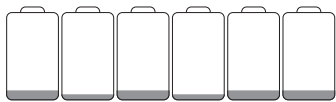


高出力バッテリーの上手な使い方○



1~2A 放電

①イコライジング放電 (1~2A 0.9V/CELLカット)
個々のバッテリー残量を均等にするために行う放電です。この時、大電流で放電するとバラツキの差が縮まりません。1~2A 0.9V/CELLがお奨めの値です。パックバッテリーも同様です。



充電

②充電
適正の電流値、ソースホールド値、カット温度を守り正しく充電します。



15分後

③使用までの時間
充電後は、出来るだけ早く使用してください。15分以内が最適です。



使用后

④使用後のバッテリー状態
バッテリーを正常に使用しても、内部抵抗の違いによって若干の残量の差が生じます。



1~2A 放電

⑤充電に備え
イコライジング放電(1~2A 0.9V/CELLカット)をします。

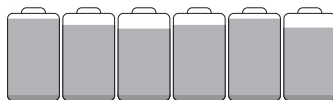
近年バッテリーは、高出力化と大容量化が目ざましく進歩しております。これらのバッテリーは従来のもものと比較した場合、少しデリケートですが、特性を理解し正しい使用方法でバッテリーの能力を最大限引き出しましょう。

- ・表記容量まで入らない。
 - ・充電中に発熱が早めにかかる。
 - ・充電終了時に数本のバッテリーが異常発熱し液漏れする。
- などの症状が見られたら要注意です。最悪の場合には、爆発事故につながる事もあります。良くご理解された上でご使用ください。

間違った使い方✕

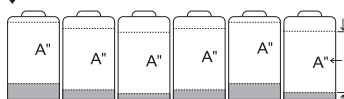
2~3時間後

⑥使用までに2~3時間以上放置した場合
高出力バッテリーは、自己放電が速く、満充電して数時間で容量にバラツキを生じます。



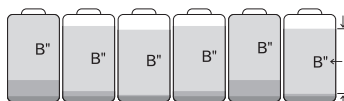
使用后

⑦使用後も生じたバラツキ
適切なイコライジング放電をしない限り、容量のバラツキはそのままとなります。よって使用できる内部容量は少なくなり(A部分)、バッテリーによっては全てのエネルギーを消費することができません。



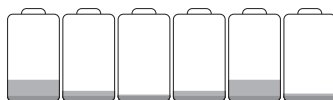
充電

⑧充電容量の低下
「表記容量まで入らない(B部分)。充電中に発熱が早めにかかる。」という症状が出る。

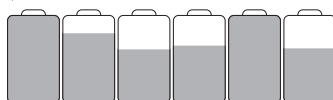


使用后

⑨使用後のバッテリー状態
バッテリーを使用しても、表記容量分だけエネルギーが取り出せず、その後も残量の差が縮まりません。



⑩間違った使用を続けると
最後には、内部残量が大きくひらき、充放電能力が大きく低下します。



この状態で、適正の電流値、ソースホールド値、カット温度のいずれかの値を上げて、バッテリーにより多くのエネルギーを送った場合、充電終了前に満充電になったバッテリーが異常発熱し液漏れを起こします。また、過度な値の場合、爆発の恐れもあります。

